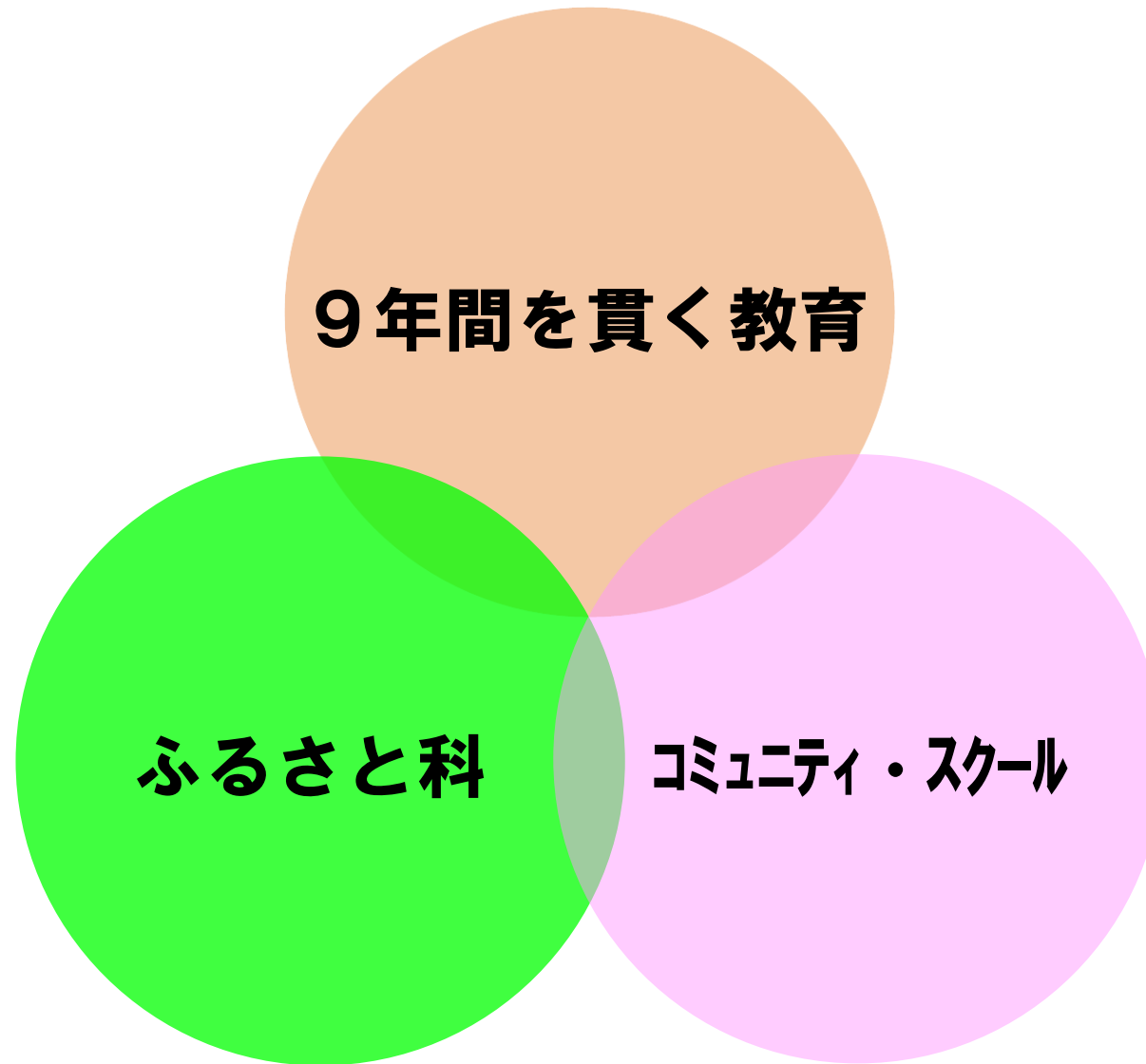

0歳から18歳を貫く 教育について

～大槌町の特色ある教育～

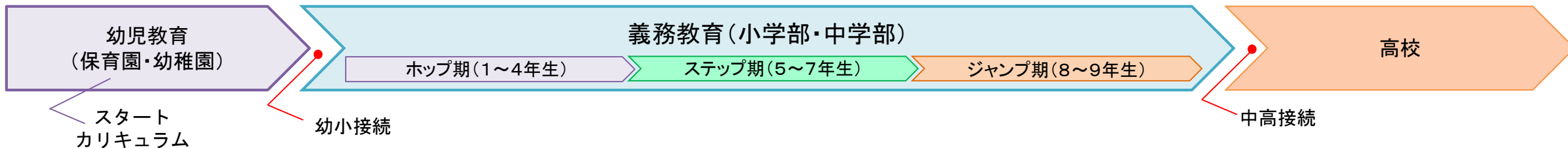




0～18才までの教育を「つなげる」・「広げる」～「自立」「協働」「創造」～



大槌型一貫教育（学び方・地域との一貫したつながり・ひろがり）



大槌町型教育で 目指す授業

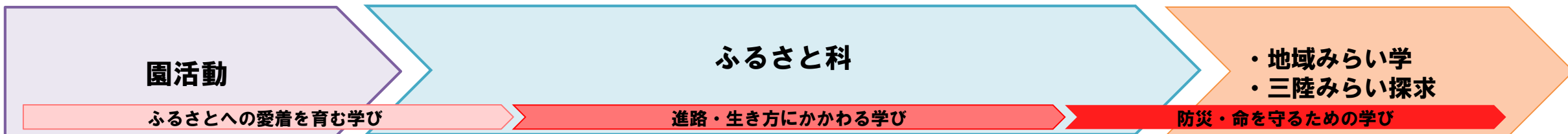
- STEP 1** 単元全体を通して身に付けさせたい資質、能力を明確に
- STEP 2** 授業のねらい（この時間で身に付けさせたい資質、能力を明確に）
- STEP 3** ICT端末や機器を効果的に活用して！ ICT教育の充実（一人一台端末）
- STEP 4** 課外、学習活動とのつながりも考えて！

個別最適な学びの保証

安心できる環境（学級経営の充実）、特別支援教育の充実



0～18才までの教育を「つなげる」・「広げる」～「自立」「協働」「創造」～



安心できる学びの場の保障

生徒指導の充実・SC/SSWとの連携



大槌町は、教育を
「つなげる・広げる」
町です

0歳から18歳までの一貫教育



大槌の小中一貫教育校



大槌学園

施設一体型の校舎



義務教育学校

崩壊したコミュニティを新しく作り出していく地域

吉里吉里学園

施設分離型の校舎



併設型小中一貫校

既存の校舎を活用し、これまでのコミュニティの良さを維持し豊かにしていく地域

9年間をつなげる・ひろげる（小中一貫教育）～「豊かな育ち」と「確かな学び」の保証～

- 一貫性のある学習指導(大槌型教育)
- 異学年との交流による成長(リーダー・フォロアーの育成)
- 継続性のあるサポート(中1ギャップの解消)
- 9年間を見通して必要な資質・能力の育成と必要な体験・経験の提供
- 3段階(ホップ・ステップ・ジャンプ)でのきめ細かな指導と見取り

義務教育(小学部・中学部)

ホップ期(1～4年生)

ステップ期(5～7年生)

ジャンプ期(8～9年生)

学級担任制

一部教科担任制

教科担任制

大槌高校魅力化事業の3つの柱



1

町内に住む子どもたちが行きたくなる大槌高校の実現に向けて
魅力あるカリキュラムづくり・地域連携

- 魅力化構想会議の会議設計や運営
- 三陸みらい探究や地域みらい学等、地域探究カリキュラムの実施

2

町内中高生への学習や居場所を支援する
放課後居場所支援（コラボスクール大槌臨学舎）

- 中学生への学習サポート
- 中高生プロジェクト型学習等支援
- 中高生への居場所づくり

3

町外からの生徒を受け入れることでの高等学校・地域の活性化
全国募集（はま留学）

- 新規生徒募集に向けた広報
- 県外留学生への生活支援

大槌型教育で目指す授業



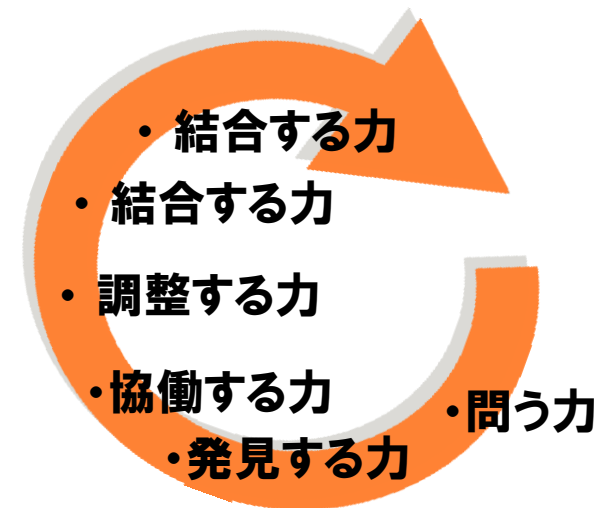
- ・協働
- ・対話
- ・学びあい



まとめ・振り返り
資質・能力の高まり



課題設定
自分事の課題…主体的、対話的深い学びイメージ



目指す授業像の実現のために



STEP 1 子ども達に「学び方」を指導する

1

└ 教えるべきことは「教える」
→ やり方・見方・考え方

STEP 2 目指す授業像を 教師と子ども達が共有する

2

└ まずは教師がイメージを！ ベースを作る

STEP 3 子ども達に、どんな授業を 積み上げたいか目標を持たせる

3

└ ゴールの見通し・ねらいを子どもとも共有

大槌町の教育は

ふるさとと

「つなげる・広げる」

～ふるさと科～



「ふるさと」とつなげる・広げる



幼児教育
(保育園・幼稚園)
園活動の中で



義務教育学校 (小学部・中学部)

ふるさと科



高校

地域みらい学
三陸みらい探求

0～18才までに身に付けたい資質・能力でつなぐ

「ふるさと」をフィールド、学習材としてふるさとやふるさとの人とのかかわりと協働の視点で学びをつなげ・広げます。

ふるさと科とは？ ～3つの柱～

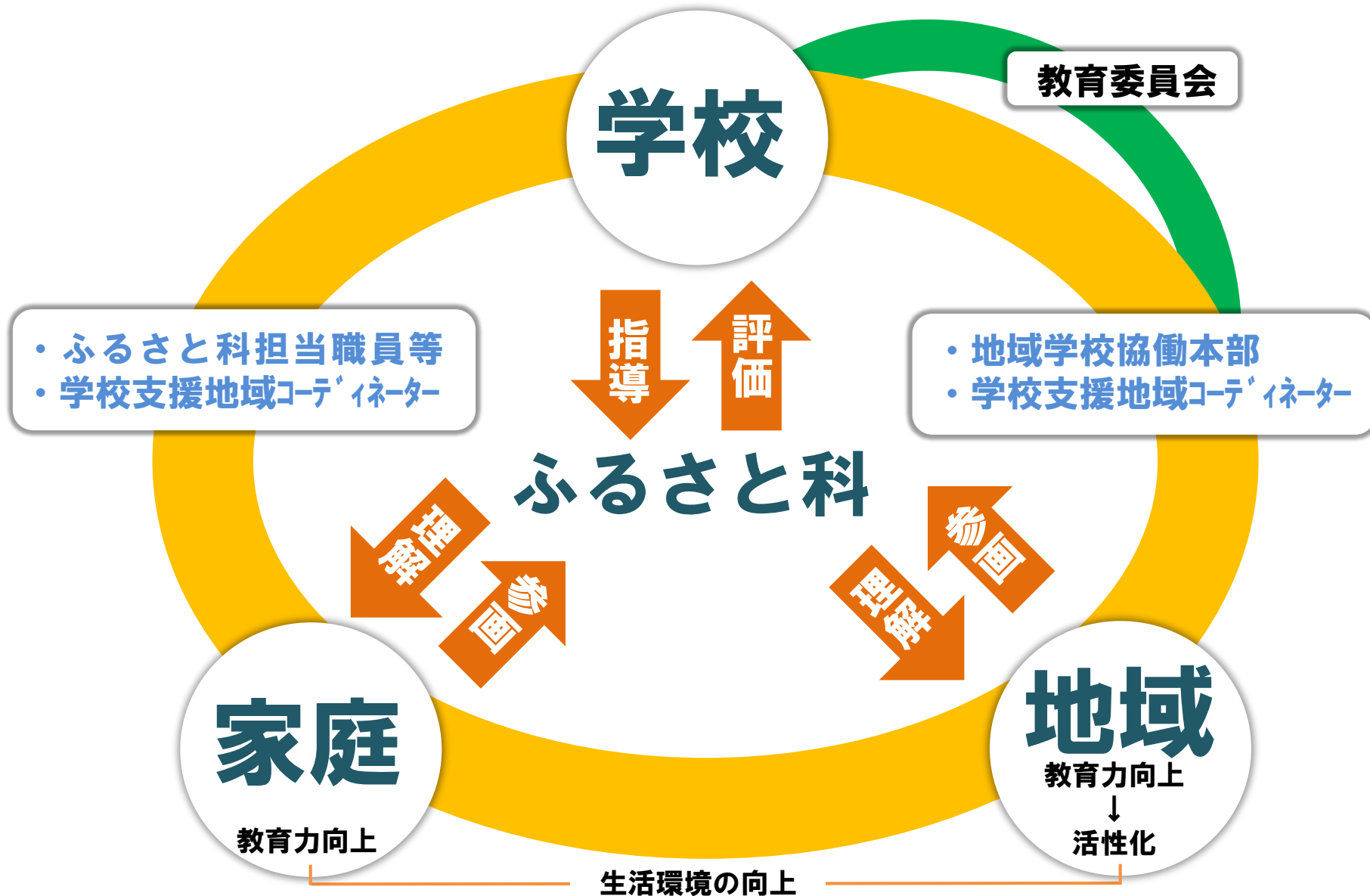
地域への愛着を育む学び

生き方・進路指導を
充実させる力を育む学び

防災教育を中心とした学び

郷土に誇りをもち、社会の変化に柔軟に対応し、
将来への夢や希望を描き実現へ向けて努力する子ども

学校支援地域コーディネーターの配置



大槌町の教育は 地域と

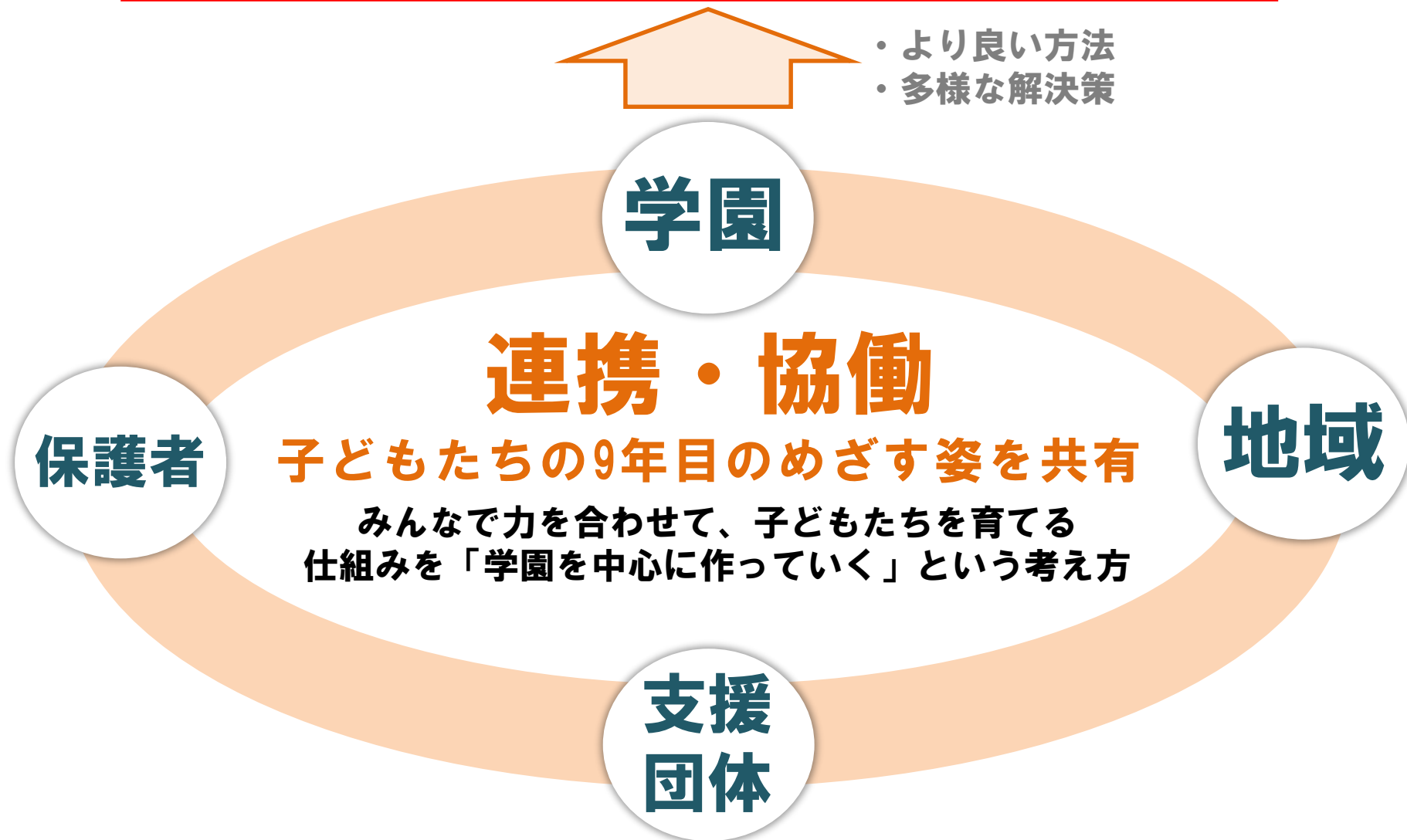
「つなげる・広げる」

～コミュニティ・スクール～

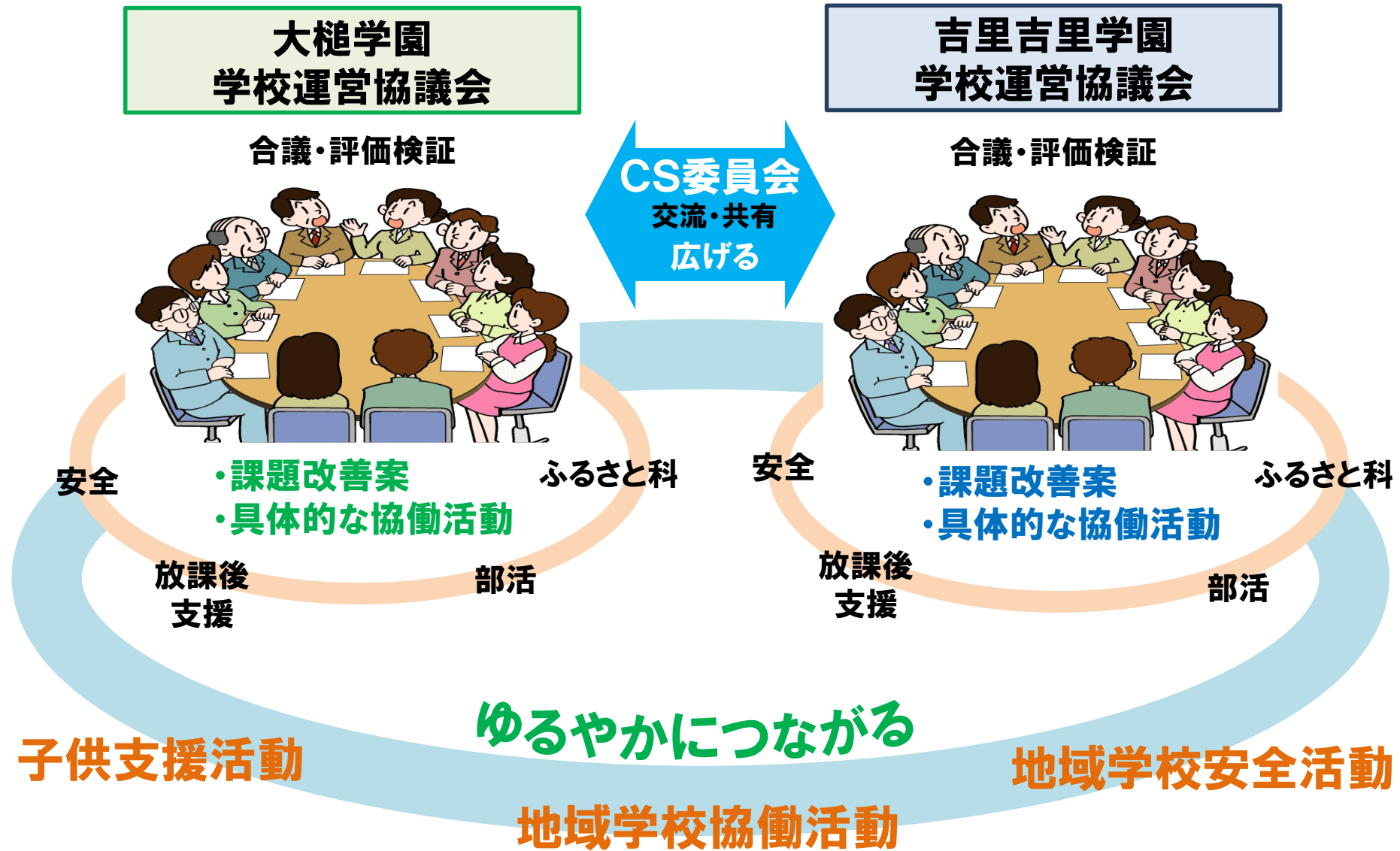




学園や学園を取り巻く問題の複雑化・困難化

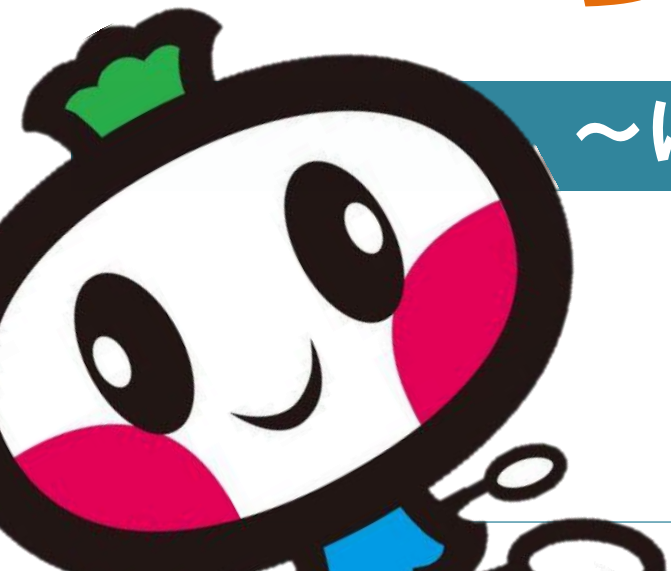


大槌町コミュニティ・スクール協議会



大槌町の教育は すべての子供たちと 「つなげる・広げる」

～けやき教育・ウェルビーイングの実現～



「**けやき教育**」の達成目標

「**けやき教育**」(大槌型特別ニーズ教育)の支援体制の構築

「**誰一人取り残さない学びの保証**」の実現

達成すべき最上位目標

特別支援教育の視点を入れ、子供たちの支援を行うことで

1 新規の不登校児童生徒を未然に防ぐことができる。

※ウェルビーイングの実現

2 不登校児童生徒へ適切な支援ができる。

■ウェルビーイングとは身体的、精神的に健康な状態であるだけでなく、社会的、経済的に良好で満たされている状態にあることを意味します。

